

入 札 説 明 書

(工事番号) 第997号
(工事名) 防災行政無線等設置工事
(工事場所) 会津若松市東栄町地内外

1. 総合評価の方法

総合評価の方法は、次のとおりとする。

- (1) 入札参加者より提出のあった技術評価点申請書等(①～⑥)の内容を評価項目ごとに評価の上、加点し、合計点を入札参加者の加算点とする。

なお、加算点の最高点数は20点とする。

- ① 技術評価点申請書 (第1号様式)
- ② 企業の技術力に関する調書 (第2号様式)
- ③ 配置予定技術者の技術力に関する調書 (第3号様式)
- ④ 企業の地域社会に対する貢献度等に関する調書 (第4号様式)
- ⑤ 施工計画書 (第5号様式)
- ⑥ 技術提案書 (第6号様式)

ただし、②・③・④の調書は特定建設工事共同企業体(以下「特定JV」という。)全構成員分についてそれぞれ作成・提出し、①・⑤・⑥は特定JVとして作成・提出すること。

特定JVでの申請における各評価項目の申請者の得点のうち、特定JVの全構成員分それぞれに作成・提出されるものについては、構成員ごとに評価項目の得点を算出し、その得点に特定JVの出資割合を乗じて得た点数の合計(小数点第2位切捨て)とする。

- (2) 入札価格及び技術提案に係る総合評価は、入札参加者の上記(1)により得られた加算点と標準点(100点)の合計を当該入札者の入札価格で除した数値(以下「評価値」という)をもって行う。

2. 落札候補者及び落札者の決定方法

(1) 落札候補者

入札価格が予定価格の制限の範囲内で失格基準価格以上の者のうち、評価値が最も高い者を第1落札候補者とし、次に評価値が高い者を第2落札候補者、以下同様に落札候補者の優先順位を決定する。

なお、評価値の最も高い者が2者以上あるときは、くじにより優先順位を決定する。

(2) 落札者

最も優先順位の高い落札候補者が次の要件等を全て満たした場合、落札者とする。

- ① 資格審査により、入札参加資格要件を満たしていることが確認されること。
- ② 低入札価格調査の調査基準価格を下回る入札の場合は、低入札価格調査の結果、適正な施工が確保されると判断されること。

3. 評価項目及び評価基準

別紙に記載した各評価項目について、評価基準に基づき加点する。

4. 入札参加の申し込み

特定JVとして入札参加する際の提出書類は、次の（ア）（イ）とし、市指定様式（市ホームページよりダウンロード可。）により、市契約検査課窓口へ持参すること。

（ア）制限付一般競争入札参加申込書（特定建設工事共同企業体）

（イ）特定建設工事共同企業体協定書の写し

5. 入札書等の提出方法

「入札書及び工事費内訳書」の提出は会津若松市電子入札システムにより行い、「技術評価点申請書等」の提出は、個別の封筒に封入し、定められた方法により提出すること。

なお、「入札書及び工事費内訳書」と「技術評価点申請書等」の提出方法等は次のとおりとする。

(1) 入札書及び工事費内訳書

会津若松市電子入札システムにより提出すること。（「電子入札の手引き」のうち「第2章 電子入札について」を参照。）

なお、入札書提出時に「企業体名称」を必ず入力すること。

(2) 技術評価点申請書等

① 技術評価点申請書等の提出書類は、次の（ア）～（カ）とし、市指定様式（市ホームページよりダウンロード可。）により提出すること。

（ア）技術評価点申請書（第1号様式）

（イ）企業の技術力に関する調書（第2号様式）

（ウ）配置予定技術者の技術力に関する調書（第3号様式）

（エ）企業の地域社会に対する貢献度等に関する調書（第4号様式）

（オ）施工計画書（第5号様式）

（カ）技術提案書（第6号様式）

※ 特定JVでの申請は、上記（ア）～（カ）を次のとおり提出すること。

・ （ア）、（オ）、（カ）については、特定JVで1部提出すること。

・ （イ）、（ウ）、（エ）については、特定JVの構成員分をそれぞれ作成し、必要書類とともに構成員ごとに綴じ、まとめて提出すること。

※ 技術評価点申請書の日付は、当該申請書を作成した日付を記載すること。

※ 上記（イ）～（カ）の各様式の記載にあたっては、別紙「評価項目及び評価基準」の内容、「総合評価方式 様式関係記載留意事項」等を十分確認し、記載間違いや記入漏れのないよう注意すること。

※ 上記（ア）～（カ）に添付書類が求められている場合（必須でない場合を除く。）は、必ず添付すること。

添付書類が添付されていない場合には、その評価項目は、加点対象としないものとする。

※ 別紙「評価項目及び評価基準」で求めた技術提案と異なる提案をした場合には、その評価項目は、加点対象としないものとする。

② 提出方法

技術評価点申請書等は、次の方法により提出すること。

（ア）封筒のサイズ

技術評価点申請書等の提出用封筒は、市指定サイズ角2封筒（縦332mm、横240mm）を使用すること。

（イ）記載事項について

技術評価点申請書等の提出用封筒の表面に開札日、件名、「技術評価点申請書等 在中」の文言を、裏面に特定JVの事務所の所在地、名称を記入すること。

封筒の宛先は「〒965-8601 会津若松市役所 契約検査課 行」とすること。

※ 指定した方法以外で到達した場合は無効とする。

③ 封入時の注意事項

（ア）封入書類

封筒には、次の書類を封入すること。

- ・ 技術評価点申請書
- ・ 企業の技術力に関する調書
- ・ 配置予定技術者の技術力に関する調書
- ・ 企業の地域社会に対する貢献度等に関する調書
- ・ 施工計画書
- ・ 技術提案書
- ・ 上記の技術評価点申請書等において添付が求められている書類

※ 技術評価点申請書等の提出用封筒には、「入札書及び工事費内訳書」は同封しないこと。

※ 「入札書及び工事費内訳書」が技術評価点申請書等の提出用封筒に同封されていた場合は、無効とする。

（イ）封筒の封かん及び封印

封筒は、技術評価点申請書等が封入されていることを確認のうえ、のりですっかり封かんし（セロハンテープの使用は不可）、市に届け出ている使用印鑑（特定JVの代表者の使用印鑑）で封印すること。

④ 郵送方法

技術評価点申請書等が封入された封筒は、郵便局の窓口で「一般書留郵便」又は「簡易書留郵便」の配達日指定郵便により公告に示す配達指定日に会津若松市役所に到着するよう手続きをし、開札が終わるまで差出票の控えを保管すること。

※ 一般書留郵便又は簡易書留郵便による配達日指定郵便以外の方法で提出された場合、公告で示す配達指定日以外の日に到着した場合は、無効とする。

6. 技術評価点申請書等に基づく施工

総合評価方式では、価格と技術評価点申請書等の評価項目の評価点により落札者を決定することから、実際の施工に際しては、入札の際に提出された技術評価点申請書等の内容に基づいた施工計画を作成し、施工するものとする（「建設キャリアアップシステムの運用」、「技術者の配置」及び「地元業者の活用」についても同様に、提出された各調書の内容に基づくものとする。）。

落札者の責めにより、入札の際に提出した技術評価点申請書等の内容に基づく工事の履行ができなかった場合は、契約金額の減額、損害賠償の請求、入札参加停止の措置及び工事成績評点の減点などの措置を行う場合がある。

また、自然災害等の不可抗力による場合を除き、技術提案を履行できないときは、以下に定める計算方法により算出した違約金を、市が指定する期限までに支払わなければならない。

◎違約金の算出方法

$$\text{違約金額} = \text{当初契約額} - \left(\text{当初契約額} \times \frac{\text{不履行により再計算した技術評価点}}{\text{当初契約時の技術評価点}} \right)$$

※ ただし、契約金額の10分の1に相当する額を限度とする。